



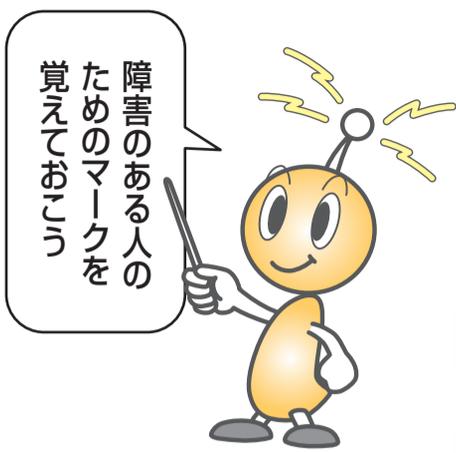
**視覚障害者のための国際シンボルマーク**

このマークがある歩行者用信号ボタン付きの信号機は、視覚障害のある人が安全に渡れるように、青色信号の時間が長めに設定されています。



**障害者のための国際シンボルマーク**

障害のあるすべての人が利用できる建物や公共輸送機関を示します。



# 障害のある人の壁をなくして

特集

認め合い、支え合って

日本では長い間、障害のある人は家族や施設をよ最近では、障害のある人の自立を社会や地域で支えていこうという考え方が広がってきています。しかし、障害のある人にとつての壁はいくつもあり、厳しい現実と直面することも少なくありません。市では、障害者基本法の基本理念の基、「誰もが自分にあつた生活を選ぶことができ、安心して暮らせるまち」を将来像とした障害者計画を進めています。この将来像へ向かうには、障害のある人だけではなく、市民全員が足並みを揃えなくてはなりません。しっかりと手をつなぎ合い、行く手を阻む壁を取り除いていきたいと思います。(障害者支援課)

## 平等 「誰にもやさしい社会をつくる『ノーマライゼーション』の考え

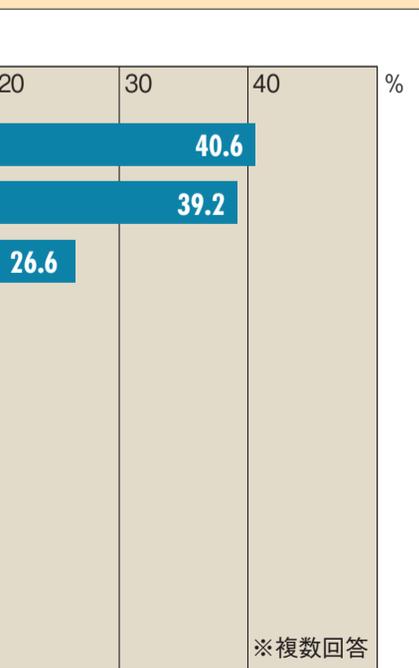
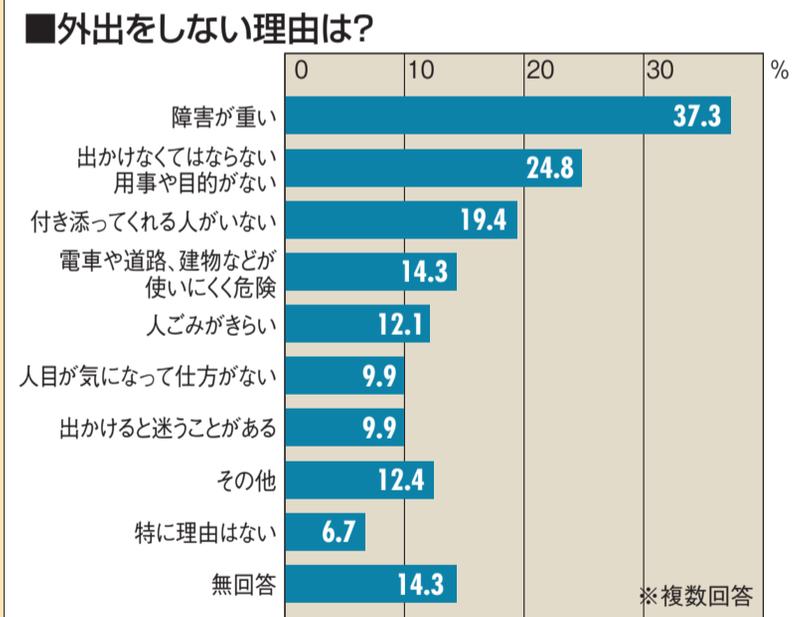
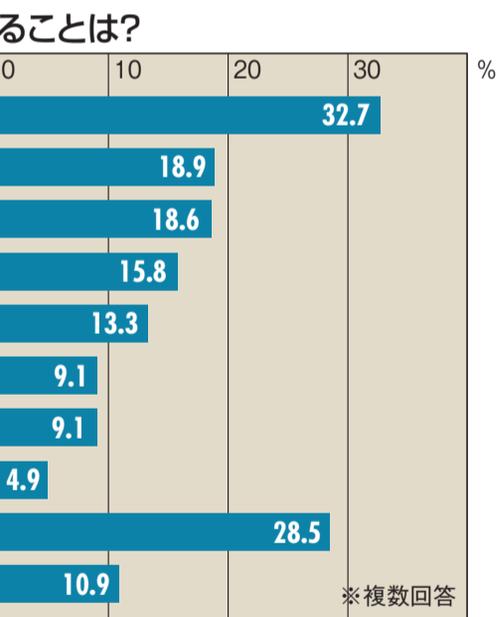
皆さんは、ノーマライゼーションという言葉をご存知ですか。ノーマライゼーションとは、障害のある人もない人も分け隔てなく、誰もが普通(ノーマル)に暮らしていけるように環境や条件を改善していこうという考えです。1981年の国際障害者年からノーマライゼーションを掲げる取り組みが世界各国で積極的に進められ、日本でも徐々にその考え方が広まり、市の障害者計画の基にもなっています。

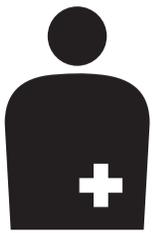
## 自由 「ノーマライゼーション」の「カギを握るのは『バリアフリー』」

誰にもやさしい社会にしていけるには、まず自由を奪うバリア(壁)を取り除いてバリアフリーにしていかななくてはなりません。バリアは、物理的なものに限らず、制度や情報、精神的なものなどさまざまあり、とりわけ難しいのが金銭や工夫だけでは解決につながらにくい心のバリアです。

障害のある人に対する偏見や誤解というバリアは、心に存在しているだけに、それぞれが自ら取り除くしか方法がありません。違いを理解して認め合い、共に支え合つて安心して暮らしていけるように、日常的な交流を図るよう努めま

「生活と福祉についての意識調査」(平成18年)より  
障害1,500人、知的障害500人、精神障害500人。





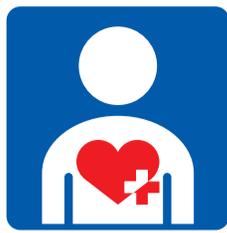
**オストメイトマーク**

人工肛門・人工膀胱を保有する人に  
対応したトイレであることを、入り口に  
張って示します。



**身体障害者補助犬啓発マーク  
(ほじょ犬マーク)**

盲導犬、介助犬、聴導犬の3種類の  
補助犬を受け入れる店舗や施設、交  
通機関などを示します。



**ハート・プラス・マーク**

外見から判断できない内部障害や  
内臓疾患のある人が、体がつらい状  
態を理解してもらえるように、身に着  
けたり車に張ったりして利用します。



**身体障害者標識**

肢体不自由な人が運転する車を示し  
ます。このマークを張っている車に幅  
寄せや割り込みをされると、道路交  
通法の規定により罰せられます。



**聴覚障害者のシンボル  
(耳マーク)**

聴覚障害は周囲が聞き取れな  
い、誤解されたり不利な  
場合に、手帳などに張っ  
て相手に示す時に月

**お客さんからの「頑張ってるね」がうれしい**

**カフェテラス「ピッコロ」で主に接客**

(メディアパーク市川1階／社会福祉法人いちばん星が運営)



1999年の4月からピッコロで働いていて、新しい仕事を一つづつ覚えていくのがとても楽しいです。今は、新しいレジが変わったから、早く使い方を教えてもらって覚えたい。たまに注文を間違えることもあるけれど、間違えないようにしないと…って思っています。お客さんが、「仕事を頑張ってるね」って言ってくれるとうれしいから。それと、この間、お給料で欲しかった腕時計を買って、仕事をしていて良かったと思いました。

**自分のために使えるように  
10万円くらいは欲しい**

**ケーキ工房「ロチユス」で洋菓子製造と販売**

(行徳駅前4-2-1ニュー行徳マンション1階／レンコンの家が運営)

手先を使う作業が好きだから、ケーキを作るのはとても楽しいです。最初に就職した会社はつぶれて、次の会社は仕事を教えてくれる人がいなくなったので仕方なくやめたんですよ。ここに来るまでの1年は家で退屈だったし、好きなことをして働けて、みんなとおしゃべりできるのもうれしい。でも、仕事には満足しているけれど、収入は…。会社では月に10万円もらっていたので、そのくらいは欲しいです。休みの日、自分のお金でいろいろな所に行けたらいいなと思います。



▲クッキーは200円～300円、オレンジやりんごなどのパウンドケーキの大きいサイズは1,000円から、ハーフサイズは500円から。



**就労**

**収入は障害のある人の自立への大きな一歩**

障害のある人が自立した生活を送るには、施設やサポート体制の充実が欠かせない要素ですが、働く場所と収入の確保も重要です。しかし、企業には障害のある人を一定の割合で雇用する義務があるとはいえ目標にはほど遠く、一方で、障害者支援施設での仕事では、思うような収入が得られないという現実があります。こうした状況のなかで、自立に向けて頑張っている2人の女性に、仕事への思いや収入などについてお話ししていただきました。

**理解**

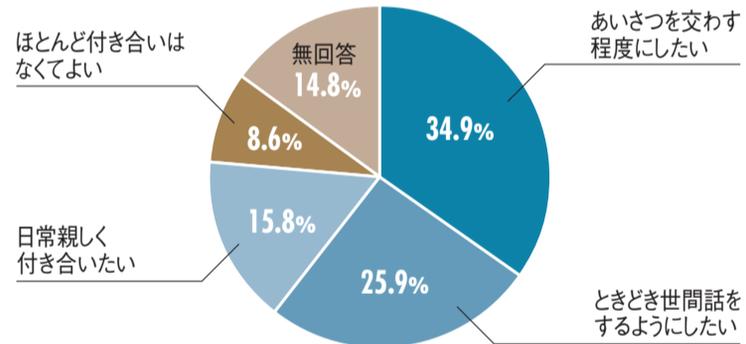
**障害のある人が困っていることは？望んでいることは？**

市では、新たな障害者計画を作るために、障害者手帳を持つ市民25000人を無作為抽出し、暮らしと福祉についてのアンケート調査をしました。今回は、そのなかから、外出の際に困ることや、これからやってみようと思っていること、バリアフリーの街にしていきたいために何をすればいいのかを一緒に考えましょう。

**市川市「障害のある方々の暮らし」**

※回答者の内訳は身体障害者

**■近所付き合いをしたい？**



**■外出した時に困ることは？**

- 道路や階段が不便・危険である
- 会話などコミュニケーションがむずかしい
- 電車やバスが利用しにくい
- 障害者用のトイレが少ない
- 人の目が気にかかる
- お店やレストランが利用しにくい
- 家族以外の介助者が確保できない
- その他
- 特になし
- 無回答

**■これから取り組みたいことは？**

